

平成28年の梅雨は九州を中心に例年にない強さを見せています。ここ広島も、例外ではなく、日本海に中心をもつ994hPaの低気圧の影響を受け、時折小雨の降る悪天候の中、6月24日に本年度の目黒会中国地方支部第32回総会・懇親会が開催されました。本年度は、大学から酒井学長特別補佐、目黒会本部からは竹内副会長、傘副会長、岩本副会長のご来席を頂き、支部会員15人、他支部1人を加えた計20人の出席・参加により、広島グランドインテリジェントホテルにて開催いたしました。

本年度は三光さんの総合司会で始まり、支部会総会での4つの議案の承認の後、岩井屋さんの司会による懇親会へと移りました。懇親会はまず竹内副会長（国内支部委員長）の乾杯の後、「電気通信大学近況」と題して、酒井学長特別補佐による電気通信大学の「勢い」を力強く語っていただきました。引き続き、竹内副会長には目黒会の近況活動をお話いただき、傘副会長からは、創立100周年記念事業のためのUEC基金への寄付要請を受けました。その後、中国地方支部会懇親会では恒例になっている乙吉さんによる「けん球の技」が披露され、毎年のことながら笑いを織り交ぜたその名人芸には、参加者一同が飲み込まれてしまいそうな5分間でした。また今年は、ただ1人の女性参加者であった本部の岩本副会長からは目黒会との関わりの始まりと現在の活動を、特別参加の都圏総支部所属 細井さんからは近況を語っていただきました。会も終わりに近づき、毎年を目玉となっている「お楽しみコーナー」では参加者全員が景品を手にし、最後の中締め、記念写真撮影を迎えることができ、有意義な2時間余りの時間でした。そして、来年の再会の言葉を交わしながら散会しました。私は参加しておりませんが、二次会も大いに盛り上がったものと思われます。

この紙面には載せきれませんが、中国地方支部では総会のほかに職域ごとの若年層への目黒会への活動参画の働きかけ、隣接支部会との交流などの活動を積極的に行っています。いずれそのうちご報告する機会があればと思います。